

ID	
氏名	
年齢	
科名	病棟

Isa-Pd 療法

4 週毎 コース予定

疾患名 多発性骨髄腫

主治医 指導医 HBs 抗原(+ -) HBc 抗体(+ -) HCV 抗体(+ -)

(スケジュール)

【1 コース目】

《注射》		day1	8	15	21 22
サークリサ(イサツキシマブ)	10 mg/kg	↓	↓	↓	↓
《内服》					
レナデックス(デキサメタゾン)	40 mg/body	↓	↓	↓	↓
ポマリスト(ポマリドミド)	4 mg/body	↓		↓	↓

【2 コース目以降】

《注射》		day1	8	15	21 22
サークリサ(イサツキシマブ)	10 mg/kg	↓		↓	
《内服》					
レナデックス(デキサメタゾン)	40 mg/body	↓	↓	↓	↓
ポマリスト(ポマリドミド)	4 mg/body	↓		↓	↓

【注意】*イサツキシマブはインラインフィルター(0.2 又は 0.22 ミクロン)を用いて投与すること。

*イサツキシマブ投与時、Grade2 の Infusion reaction が発現した場合は、Grade1 以下に回復するまで投与を中断すること。回復後は 87.5 mg/時の投与速度で投与を再開できる。Infusion reaction の再発が認められなかった場合は 30 分ごとに 50 mg/時ずつ最大 400 mg/時まで投与速度を上げることができる。

*デキサメタゾンは 75 歳以上の患者では 20 mg/body への減量を考慮すること。

*ST 合剤や抗ウイルス薬などの予防内服を考慮すること。

*イサツキシマブ投与 4 回目までに Infusion reaction が認められなかった場合は、医師が前投薬の必要性について判断できる。

*投与開始前に不規則抗体のスクリーニングを含めた一般的な輸血前検査を実施すること

*イサツキシマブの投与速度は点滴速度換算表で確認すること

☆通常量より減量する際の理由☆

I-Pd 療法

(レジメン)

【全コース共通】

day 1 - 21 ポマリストカプセル 内服

【1 コース目】

day 1

- ① 生食 500 mL にて血管確保 維持(20 mL/時間)
- ② レスタミン 10 mg 5 錠 内服
カロナール 500 mg 2 錠 内服
レナデックス 4 mg 10 錠 内服
- ③ ファモチジン 20 mg 側管静注
☆30 分後より
- ④ サークリサ + 生食 適量(全量 250 mL)
輸液ポンプにて 25 mL/時間で点滴静注を開始
- ⑤ 25 mL/時間で 60 分点滴静注した後、患者の忍容性が良好な場合
輸液ポンプにて 50 mL/時間で点滴静注
- ⑥ 50 mL/時間で 30 分点滴静注した後、患者の忍容性が良好な場合
輸液ポンプにて 75 mL/時間で点滴静注
- ⑦ 75 mL/時間で 30 分点滴静注した後、患者の忍容性が良好な場合
輸液ポンプにて 100 mL/時間で点滴静注
- ⑧ 100 mL/時間で 30 分点滴静注した後、患者の忍容性が良好な場合
輸液ポンプにて 125 mL/時間で点滴静注
- ⑨ 125 mL/時間で 30 分点滴静注した後、患者の忍容性が良好な場合
輸液ポンプにて 150 mL/時間で点滴静注

day 8

- ① 生食 500 mL にて血管確保 維持 (20 mL/時間)
- ② レスタミン 10 mg 5 錠 内服
 - カロナール 500 mg 2 錠 内服
 - レナデックス 4 mg 10 錠 内服
- ③ ファモチジン 20 mg 側管静注
 - ☆30 分後より
- ④ サークリサ + 生食 適量(全量 250 mL)
輸液ポンプにて 50 mL/時間で点滴静注
- ⑤ 50 mL/時間で 30 分点滴静注した後、患者の忍容性が良好な場合
輸液ポンプにて 100 mL/時間で点滴静注
- ⑥ 100 mL/時間で 30 分点滴静注した後、患者の忍容性が良好な場合
輸液ポンプにて 200 mL/時間で点滴静注

day 15, 22

- ① 生食 500 mL にて血管確保 維持 (20 mL/時間)
- ② レスタミン 10 mg 5 錠 内服
 - カロナール 500 mg 2 錠 内服
 - レナデックス 4 mg 10 錠 内服
- ③ ファモチジン注 20 mg 側管静注
 - ☆30 分後より
- ④ サークリサ + 生食 適量(全量 250 mL)
輸液ポンプにて 200 mL/時間で点滴静注

【2 コース目以降】

day 1, 15

- ① 生食 500 mL にて血管確保

維持（20 mL/時間）
- ② レスタミン 10 mg 5 錠

内服
- カロナール 500 mg 2 錠

内服
- レナデックス 4 mg 10 錠

内服
- ③ ファモチジン注 20 mg

側管静注
- ☆30 分後より
- ④ サークリサ + 生食 適量(全量 250 mL)

輸液ポンプにて 200 mL/時間で点滴静注

day 8, 22 レナデックス錠 内服

	1 コース			
	day1	day8	day15	day22
月 日	/	/	/	/
サークリサ 開始時刻	↓	↓	↓	↓
確 認				

	コース		コース		コース		コース	
	day1	day15	day1	day15	day1	day15	day1	day15
月 日	/	/	/	/	/	/	/	/
サークリサ 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
確 認								

	コース		コース		コース		コース	
	day1	day15	day1	day15	day1	day15	day1	day15
月 日	/	/	/	/	/	/	/	/
サークリサ 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓

I-Pd 療法

確 認								
-----	--	--	--	--	--	--	--	--